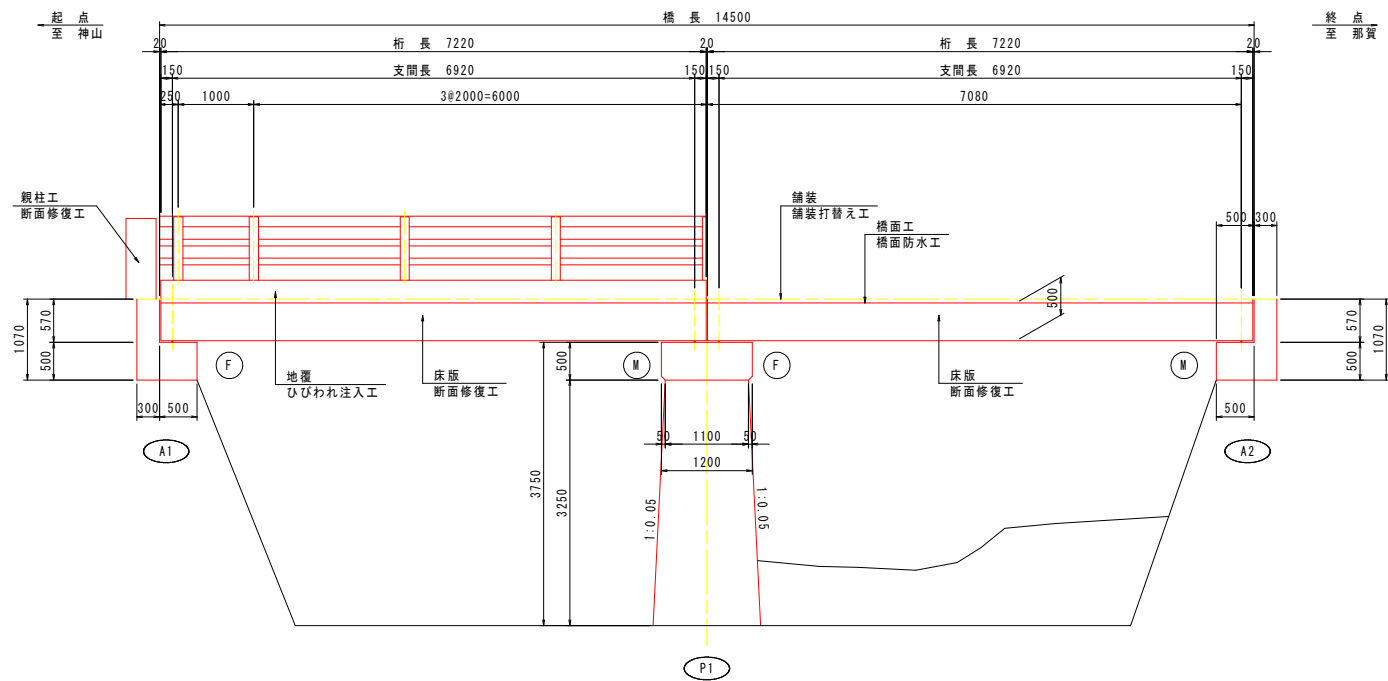


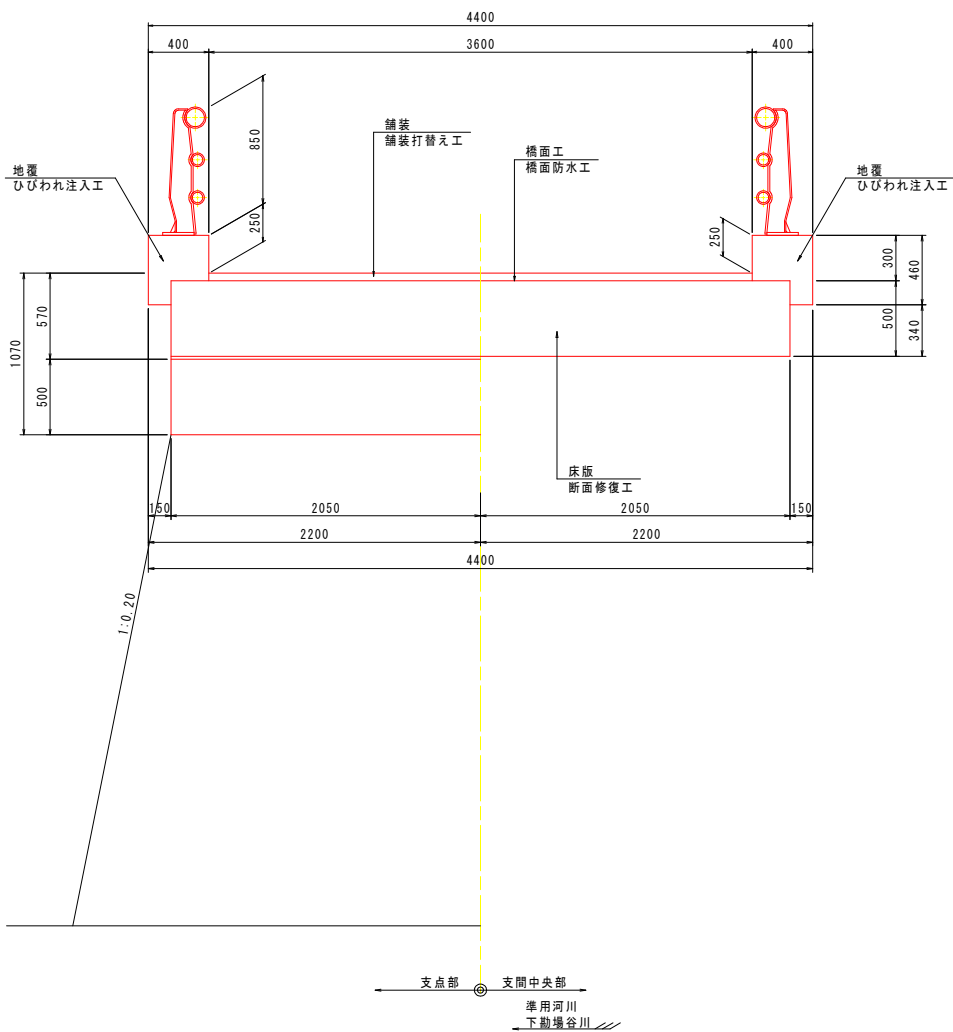
補修工一般図

側面図 S=1:50

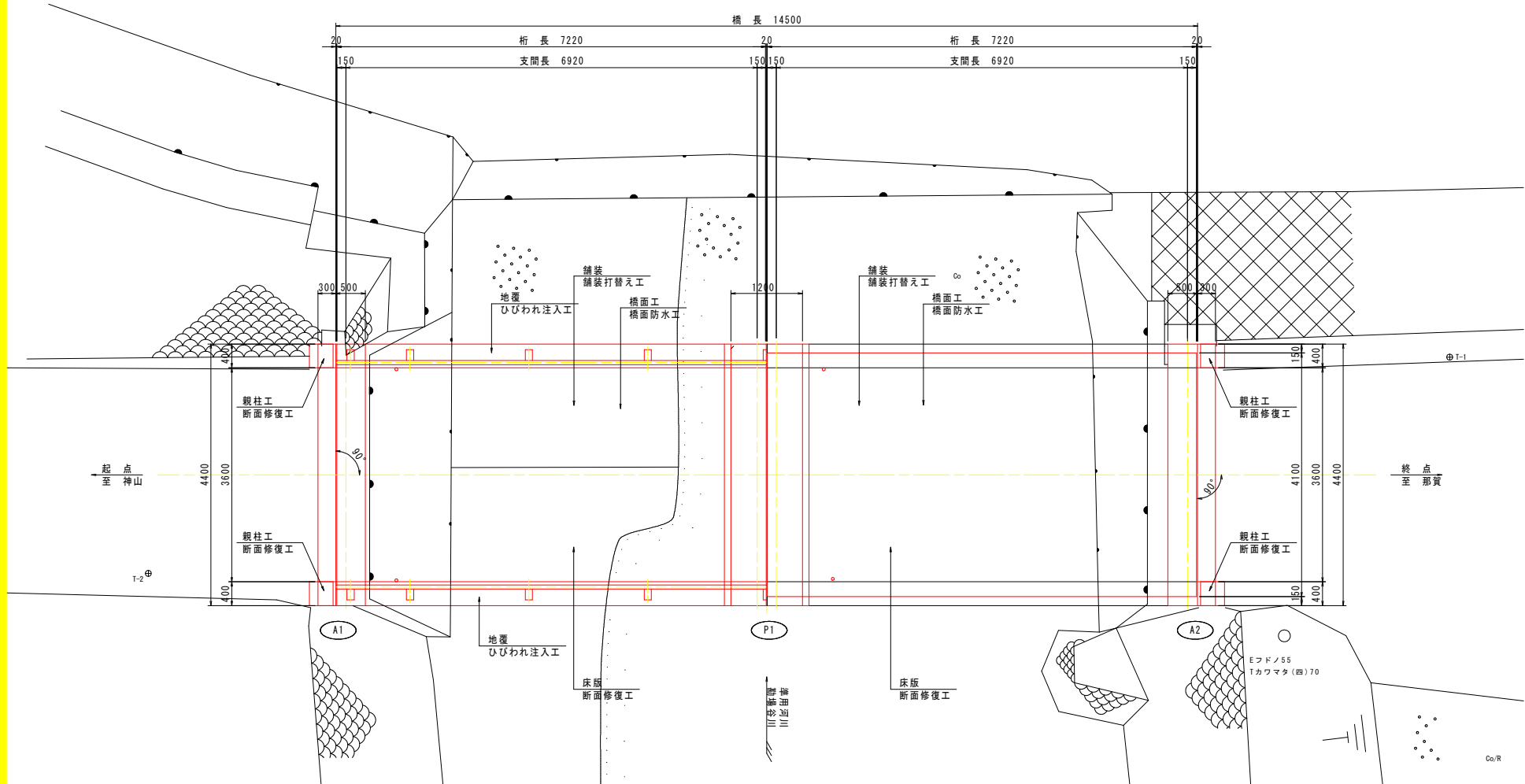


注) 橋梁構造寸法は、現地計測を基に作成している。
橋台背面の形状は、推定の形状を示す。
地形は、「平成17年度 橋梁震災対策工事」を基に作成している。

断面図 S=1:25



平面図 S=1:50



補修工一覧表

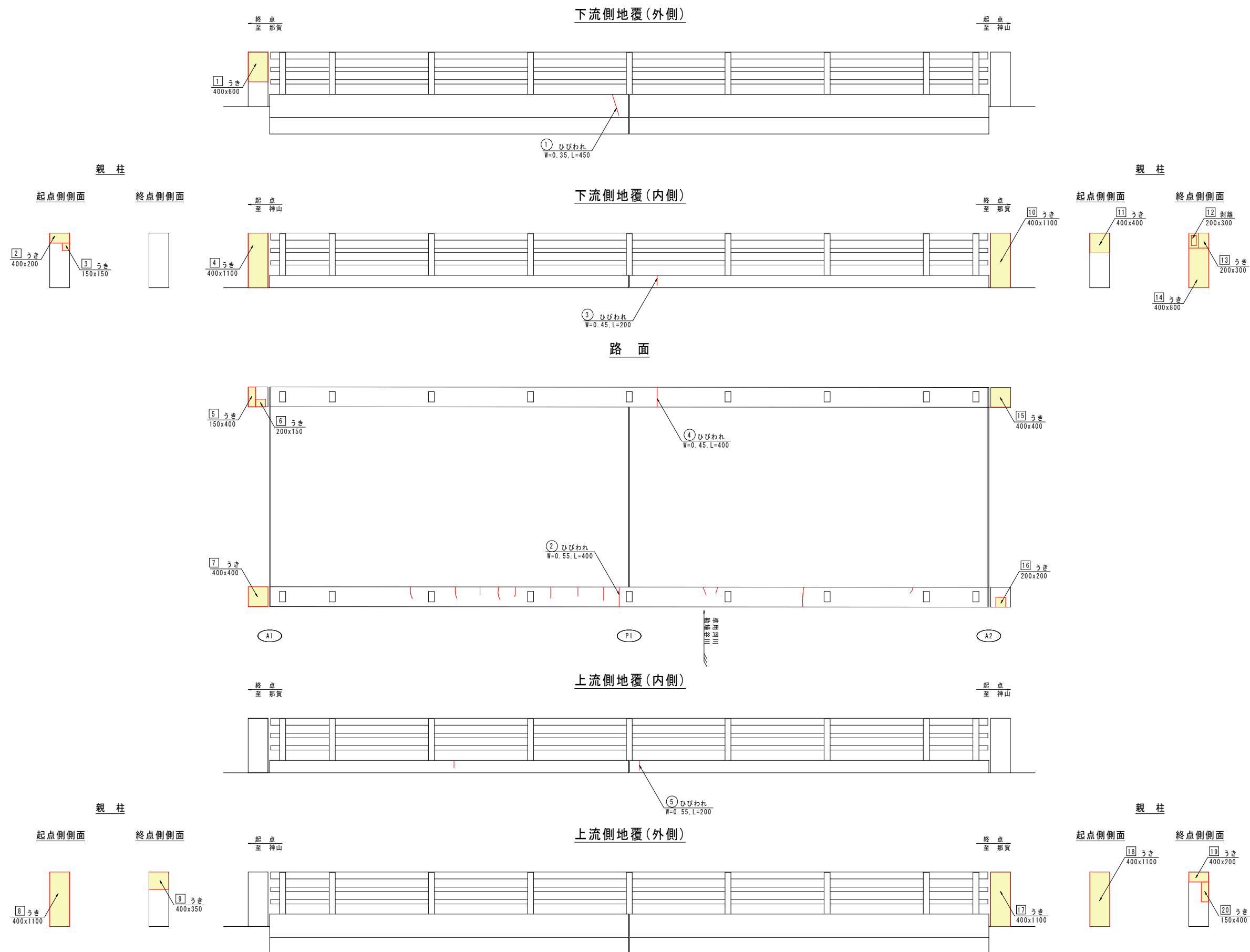
項 目	補 修 工	材 料 等
床 版	断面修復工 (左官工法)	ポリマーセメント系モルタル
地 覆 及 び 親 柱 工	断面修復工 (左官工法)	ポリマーセメント系モルタル
橋 面 工	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系
舗 装	橋面防水工	塗膜防水
	舗装打替え工	アスファルト舗装 t=50mm

当初設計図面

(下勤場橋)			
工 事 名	R8徳土 国道438号 (下勤場橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西部神山町上分 (下勤場橋)		
図 面 名	補修工一般図		
縮 尺	1:25, 1:50	図面番号	1 / 5
会 社 名			
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。

地覆及び親柱補修工詳細図(1) S=1:40



【注記】

- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

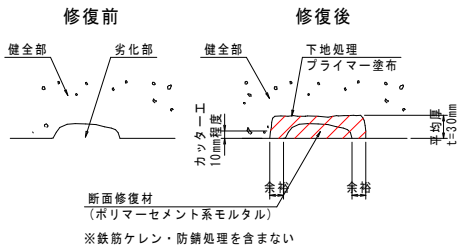
当初設計図面

(下勘場橋)			
工事名	R8徳土 国道438号(下勘場橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分(下勘場橋)		
図面名	地覆及び親柱補修工詳細図(1)		
縮尺	1:40	図面番号	2 / 5
会社名			
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

地覆及び親柱補修工詳細図(2) S=1:40

断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



- ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
- ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて、鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
- ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

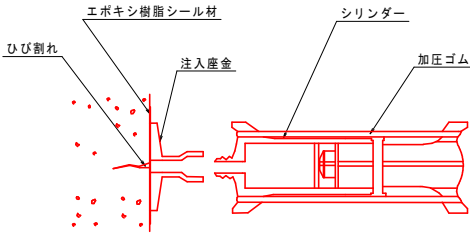
断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L	単位	鉄筋非露出部	備 考
			数 量	
親柱工 (A1-P1)				
1	400 x 600	m2	0.240	うき
2	400 x 200	m2	0.080	うき
3	150 x 150	m2	0.023	うき
4	400 x 1100	m2	0.440	うき
5	150 x 400	m2	0.060	うき
6	200 x 150	m2	0.030	うき
7	400 x 400	m2	0.160	うき
8	400 x 1100	m2	0.440	うき
9	400 x 350	m2	0.140	うき
小 計			1.613	
親柱工 (P1-A2)				
10	400 x 1100	m2	0.440	うき
11	400 x 400	m2	0.160	うき
12	200 x 300	m2	0.060	剥離
13	200 x 300	m2	0.060	うき
14	400 x 800	m2	0.320	うき
15	400 x 400	m2	0.160	うき
16	200 x 200	m2	0.040	うき
17	400 x 1100	m2	0.440	うき
18	400 x 1100	m2	0.440	うき
19	400 x 200	m2	0.080	うき
20	150 x 400	m2	0.060	うき
小 計			2.260	
合計（面積）		m2	3.873	
合計（体積）		m3	0.116	(t=30mm)
※（体積）		m3	0.174	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

ひび割れ注入工詳細図



ひび割れ注入工 単位数量表

10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
シーリング材	エポキシ樹脂系	kg	1.02	幅30mm×厚さ2mmに仮定
注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.11	幅0.35mm、深さ50mmに仮定
			0.14	幅0.45mm、深さ50mmに仮定
			0.17	幅0.55mm、深さ50mmに仮定
注入器具	40cm間隔	個	25.0	

- 注1) ひびわれ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
注2) ひびわれ注入工の注入深さは、現地目視点検により50mmと仮定している。
詳細な注入深さは現地計測により決定すること。
注3) シーリング材の断面は、幅30mm×厚さ2mmと仮定している。
注4) シーリング材の単位重量はW=1,700kg/m3と仮定している。
注5) エポキシ樹脂系の単位重量はW=1,200kg/m3と仮定している。
注6) シーリング材、注入剤はロス率を考慮していない数量である。

ひび割れ注入工数量表

番号	単位	数 量	備 考
		幅0.2mm以上 ～1.0mm未満	
地覆（A1-P1）			
①	m	0.450	幅0.35mm
②	m	0.400	幅0.55mm
地覆（P1-A2）			
③	m	0.200	幅0.45mm
④	m	0.400	幅0.45mm
⑤	m	0.200	幅0.55mm
合計	m	0.450	幅0.35mm
合計	m	0.600	幅0.45mm
合計	m	0.600	幅0.55mm

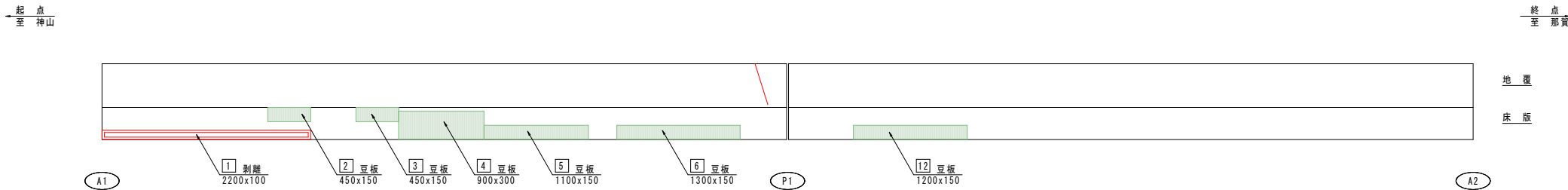
当初設計図面

(下勘場橋)			
工 事 名	R8徳土 国道438号 (下勘場橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西部神山町上分 (下勘場橋)		
図 面 名	地覆及び親柱補修工詳細図(2)		
縮 尺	1:40	図面番号	3 / 5
会 社 名			
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

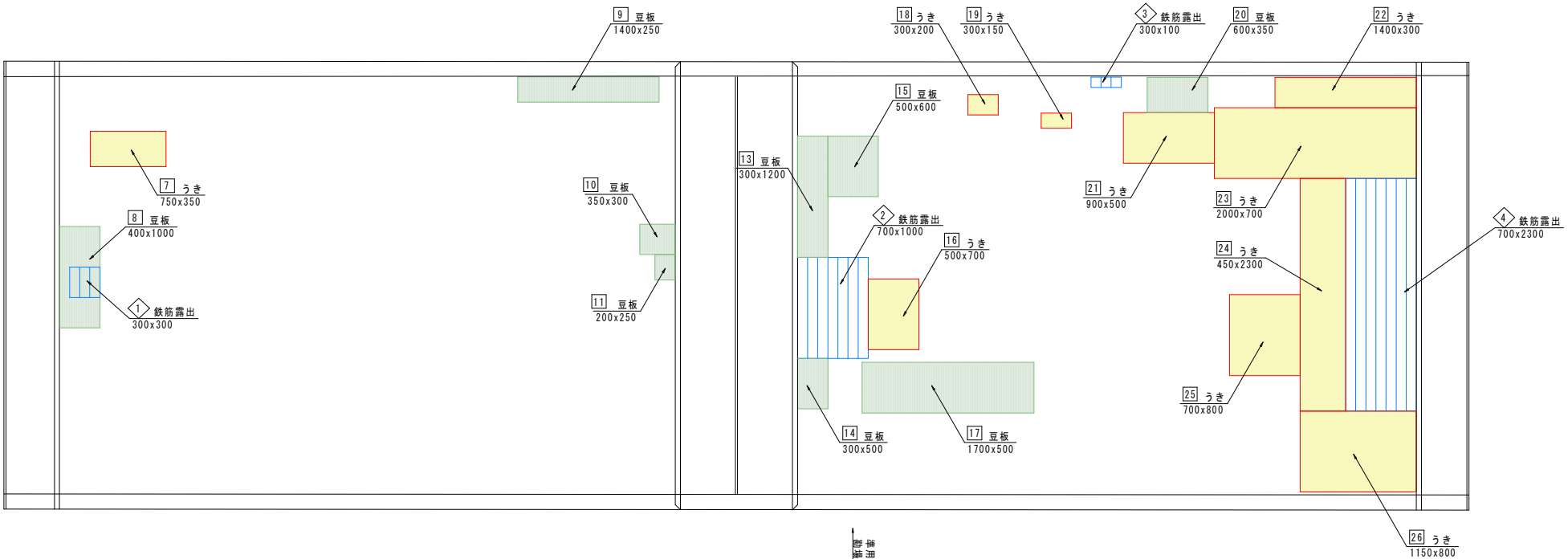
- 【注記】
- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 - ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

床版補修工詳細図 S=1:30

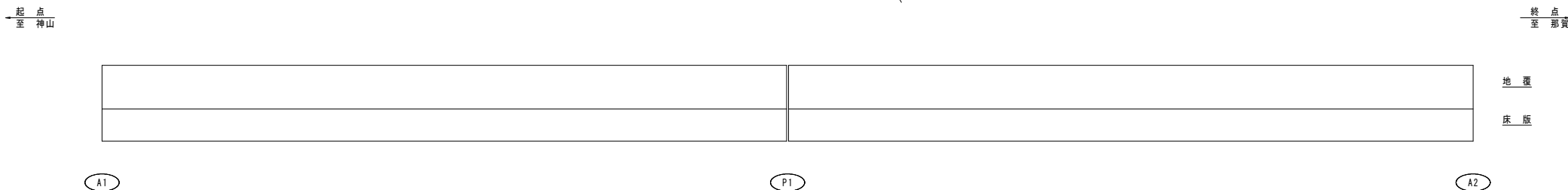
下流側側面



床版下面

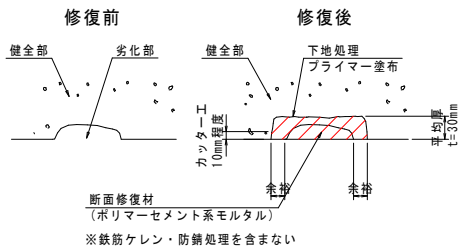


上流側側面

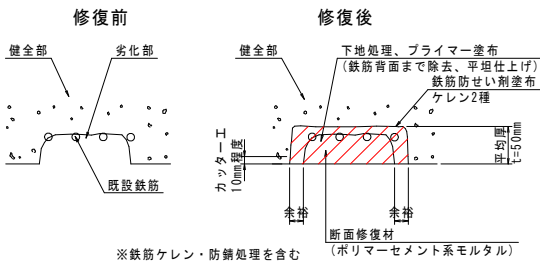


断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



鉄筋露出部



断面修復工数量表

番号	B x L	単位	鉄筋非露出部	備 考
			数 量	
床版 (A1-P1)				
1	2200 x 100	m2	0.220	剥離
2	450 x 150	m2	0.068	豆板
3	450 x 150	m2	0.068	豆板
4	900 x 300	m2	0.270	豆板
5	1100 x 150	m2	0.165	豆板
6	1300 x 150	m2	0.195	豆板
7	750 x 350	m2	0.263	うき
8	400 x 1000	m2	0.310	豆板
9	1400 x 250	m2	0.350	豆板
10	350 x 300	m2	0.105	豆板
11	200 x 250	m2	0.050	豆板
小 計			2.064	
床版 (P1-A2)				
12	1200 x 150	m2	0.180	豆板
13	300 x 1200	m2	0.360	豆板
14	300 x 500	m2	0.150	豆板
15	500 x 600	m2	0.300	豆板
16	500 x 700	m2	0.350	うき
17	1700 x 500	m2	0.850	豆板
18	300 x 200	m2	0.060	うき
19	300 x 150	m2	0.045	うき
20	600 x 350	m2	0.210	豆板
21	900 x 500	m2	0.450	うき
22	1400 x 300	m2	0.420	うき
23	2000 x 700	m2	1.400	うき
24	450 x 2300	m2	1.035	うき
25	700 x 800	m2	0.560	うき
26	1150 x 800	m2	0.920	うき
小 計			7.290	
合計 (面積)		m2	9.354	
合計 (体積)		m3	0.281	(t=30mm)
※ (体積)		m3	0.422	

※ [11] は◇を控除した値である。

断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

断面修復工数量表

番号	B x L	単位	鉄筋露出部	備 考
			数 量	
床版 (A1-P1)				
◇	300 x 300	m2	0.090	鉄筋露出
小 計			0.090	
床版 (P1-A2)				
◇	700 x 1000	m2	0.700	鉄筋露出
◇	300 x 100	m2	0.030	鉄筋露出
◇	700 x 2300	m2	1.610	鉄筋露出
小 計			2.340	
合計 (面積)		m2	2.430	
合計 (体積)		m3	0.122	(t=50mm)
※ (体積)		m3	0.182	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

当初設計図面

(下勤場橋)			
工 事 名	R8徳土 国道 4 3 8 号 (下勤場橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 4 3 8 号		
工事箇所	名西郡神山町上分 (下勤場橋)		
図 面 名	床版補修工詳細図		
縮 尺	1:30	図面番号	4 / 5
会 社 名			
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

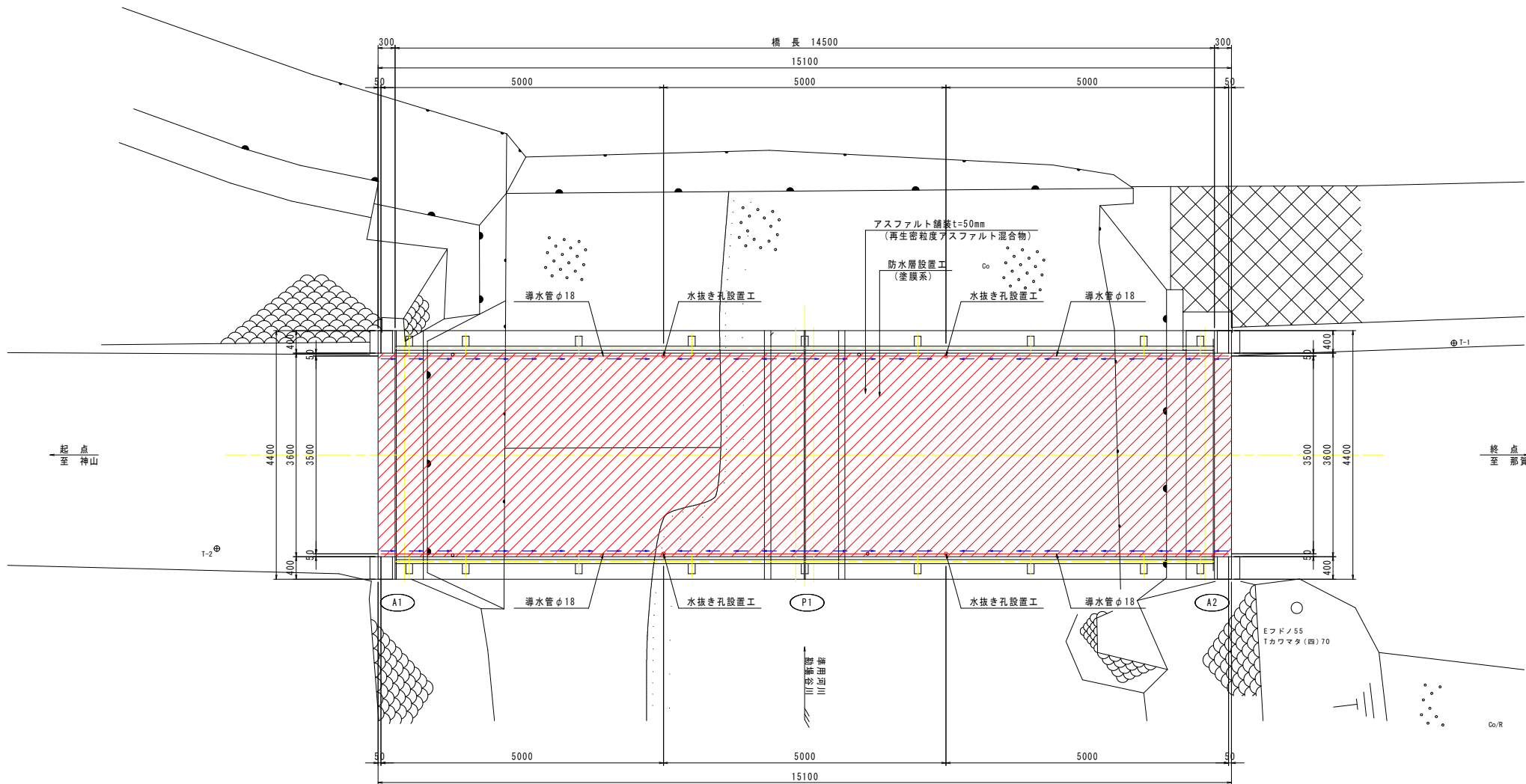
【注記】

- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等にかかること。

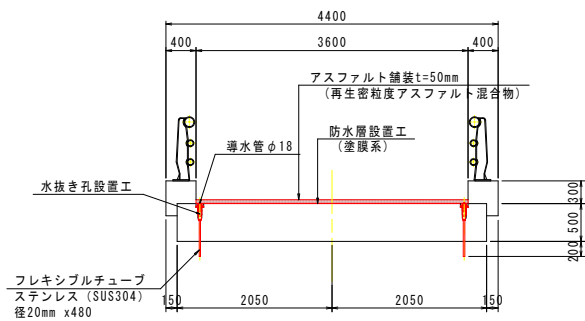
橋面補修工詳細図

S=1:50

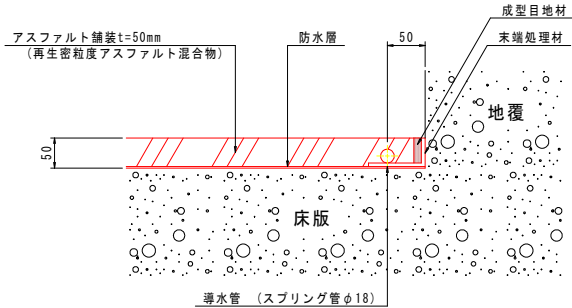
平面図



断面図



防水層設置工詳細図 S=1:5



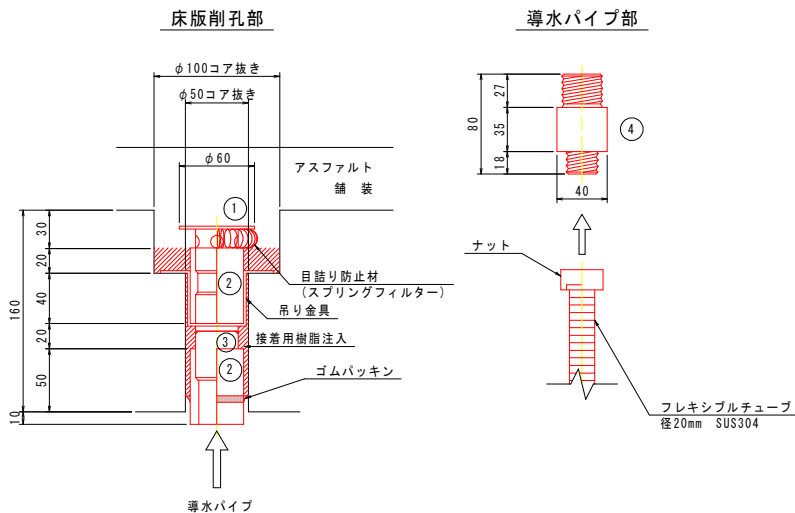
橋面防水工材料表 (全体当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
防 水 層	塗膜系	m ²	54.4	車道部
導 水 管	スプリング管φ18	m	30.0	亜鉛メッキ、同等品以上
成 型 目 地 材		m	37.4	
端 末 処 理 材		m	37.4	

注) 成型目地材は、舗装と構造物が接する部分に設置する。
数量は、総延長を示す。

水抜き孔設置工詳細図 S=1:3

(N=4箇所)



水抜き孔材料表

部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品	① φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛めっき仕上げ) キャップ付(φ60x2.3t)
本体構成部品	② φ42.7 x 60	鋼管(亜鉛めっき仕上げ)
本体構成部品	③ φ34.0	鋼管(亜鉛めっき仕上げ)
吊り金具		普通鉄板
ゴムパッキン		
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター(SUS304)

注1) 水抜き工は、既設床版を削孔した後、必要長を計測して設置すること。
注2) 削孔位置の床版厚により、水抜き孔の規格を決定すること。

導水パイプ材料表

部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品	④ 40.0 x 80	樹脂製
フレキシブルチューブ	径20mm x480	ステンレス(SUS304)

注3) フレキシブルチューブは、先端が主桁下より200mm程度以上確保できるよう現地計測のうえ延長を決定すること。

【注記】

- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。
- ・舗装撤去後の遊間部は、目地材の整形やシール材による遊間部上面処理を施すなど、監督員と協議を行って、適切に処理しておくこと。

当初設計図面

(下勘場橋)

工 事 名	R8徳土 国道438号(下勘場橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分(下勘場橋)		
図 面 名	橋面補修工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 5
会 社 名			
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		